

日広連ホームページ

e-SIGNS

http://www.nikkoren.or.jp

Federation of all Japan Outdoor

日広連

Advertising Associations

発行所/一般社団法人日本屋外広告業団体連合会
〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-14(屋外広告会館)
☎03-3626-2231(代表) FAX.03-3626-2255
発行人/高橋公比古 編集人/山縣 登
購読料/4,600円(年間予約,送料とも,税込み)
(購読料は賦課金に含む)
定価一部380円(税込み) 毎月1日発行
郵便振替口座 00180-1-45890

第23回屋外広告士試験
沖縄を含む全国12会場で実施

第二十三回屋外広告士試験は、十月五日(日)に実施する。
受験申込書「受験の手引」は、五月七日(水)から七月三十一日(木)まで頒布する。一部三六〇円(税込)、送料一四〇円(税込)の切手を本会試験課宛に申し込む。
受験料は一万七五〇〇円(税込)。受験資格は、平成二十六年十月一日現在で屋外広告業等に従事した満十八歳以上の実務経験が三年以上ある者。願書の申込受付は、八月八日(金)まで。
試験は、全国十二会場で行われる。鹿児島は昨年引続き二回目、沖縄では初めての実施となる。会場は次のとおり。
▼札幌 札幌学院法人札幌
▼仙台 科学技術専門学校、仙台エスポールみやぎ、東京二東ビルディングサイ、新潟新潟テルサイ、新潟県地場産業振興センター、名古屋愛知県産業労働センター、(ウインクあいち)、大阪エル・おおさか、広島RCC文化センター、丸亀ユニアプラ、福岡福岡商工会議所、鹿児島鹿児島県立図書館、(ウインクあいち)試験は学科と実技により実施する。学科はA(関係法規)、B(広告デザイン)、C(設計・施工)について行い、実技試験は設計とデザインのうちいずれかを受験申請時に選択する。選択した科目以外での受験は認められない。合格発表は十二月十九日(金)の予定。

第56回全国大会
6月4日に松山で開催

四国広告美術組合連合会がホストを務める第五十六回日広連全国大会は、六月四日(水)に松山市「松山全日空ホテル」で開催される。
受付は十一時から開始。大会式典は十五時十分から開催され、日広連賞、組織功労賞などの表彰が行われる。引続き十六時三十分より、社会人落語大会当日の婦人の集いは、内子町の指定有形文化財「内子座」、八日市護国の白壁の街並みを散策する。
翌五日からの観光は、しまなみ海道サイクリング、(石川)、平木寛治(福井)、大塚宏光(守屋一輝)以上静岡)、池上肇、山口誠足立俊也、中村兼、堀広視(以上愛知)、谷口賢治、谷口修(以上岐阜)、奥井貫人(三重)、川勝淑之(京都)、安達秀雄(奈良)、山元栄一(大阪)、和田光平(滋賀)、津村貞行(和歌山)、松野弘道、笠松隆、澤山(以上兵庫)、星山哲夫、岡本芳久(以上広島)、杉本健志(鳥取)、乃村芳幸(香川)、山本篤(愛媛)、林康太郎(徳島)、石坂淳(高知)、姫野亨(大分)、前田恭央(鹿児島)

第56回全国大会表彰者

日広連賞受賞者
高橋清悦(茨城県屋外広告美術協同組合常任相談役)
小笠原まき子(三重県屋外広告美術協同組合理事・相談役)
山本茂樹(岡山県屋外広告美術協同組合常任相談役)
兼光通純(徳島県屋外広告協同組合前理事長)
西村佳代子(滋賀県広告美術協同組合事務局長)
【組織功労賞受賞者】
阿部和成、今野茂(以上宮城)、鷹森泰治(山形)、星孝二、渡部龍治(以上福島)、平野正夫、益子吉実(以上茨城)、田村秀樹(群馬)、高橋實、佐々木力男(以上埼玉)、竹内勝治(千葉)、松本幹久、伊藤菊三郎、深木俊一、今井徹、原拓也、西川智之、鈴木敏夫、中田雅巳、馬場久和(以上東京)、浅水屋美枝、飯島英毅(以上神奈川)、小池毅、田中毅(以上新潟)、手塚知之(長野)、安達和男

省労働
技能士ロゴマークが決定
厚名刺やホームページで使用可能

厚生労働省は、技能検定制度・技能士を広く周知、普及することを目的とした「技能検定制度」のロゴマークとして、二〇七の応募から林誠さん(岐阜県)の作品を選定した。
技能検定制度は職業能力開発促進法に基づく国家検定制度で、現在広告美術職種(粘着シート仕上げ、ペイント仕上げ)を含む二八職種で試験が行われており、合格すると「技能士」を称することができ、
ロゴマークは、技能士はじめ、技能検定制度に関わる企業、団体、その他誰でも無料で使用可能。「技能検定制度の普及促進」や「技能士の身に付けた技能の高さ」を対外的にアピールすることを目的に、広報用印刷物名刺、ホームページ、イベントなどで使用することができ、
詳細な使用方法、ロゴマーク電子データはホームページ(http://www.waza.javada.or.jp)よりダウンロードできる。
▼コトマーク

第41回屋外広告の日標語
入選は土生洋子さん(東京)

第四十一回屋外広告の日キャンペーン標語が決定した。
入選作品は「愛されて街に息づく、良いサイン」で、作者は土生洋子さん(東京)。
標語は本紙並びに「公募ガイド」を通じて一般公募により募集。二、九三三の応募があった。採用作品は予備審査を通過した五十作品を対象に、啓発事業委員の投票による最終選考の結果、愛されて街に息づく、良いサイン
四月十一日に決定した。
佳作作品は次のとおり。
▼佳作1「ようこそが見える街並み魅せるサイン」坂本洋一さん(大分)
「伸びる街 明るい街はサインから」森川益明さん(三重)、「元気生む街の躍動 いいサイン」熊谷幸平さん(宮崎)
なお、本年度キャンペーンポスターのデザインについても本紙「公募ガイド」誌を通じて、引き続き募集をしている。

想ひ草
▼創業百周年を迎えた老舗看板店の記念誌に、地元新聞社が連載した記事が載った。
▼要約紹介すると、仏壇の彫師から木彫看板に転じて創業、大正末期にネオンサインを導入、戦後の復興とともに映画看板の隆盛期を迎え、祭りの山車作りも手がける。
▼高度経済成長と共にネオンは街を彩り、広告物も大型化するが、バブル崩壊の九〇年代以降は大企業が屋外広告を減らし、中心市街地の空洞化と市街地の拡散が進む。
▼製作技術の進歩により、手書きの職人技から機械によるシート加工や印刷出力に変わり、誰でも看板が作れる時代。でも、高所での取付け作業にはプロの技術が必要。
▼山車作りは、子供が街路にあふれていた時代を彷彿とさせる。この記事を読んで思い出していたのが、建設業法の業種区分、四十三年ぶりに見直しというニュース。
▼新設される「解体工事」は、この五月にも実現見込みで、今後も実態の変化に合わせて機動的に見直しらしいが、四十三年前の業態を思えば、無為の期間が長すぎでは。
▼屋外広告工事が「鋼構造工事」欄に例示されたのは昭和六十年十月まさに大型の広告塔や屋上ネオンが華やかな時期。この業も時代に合った位置づけが必要に思われる。

常に新製品にアタックする!
キョーワ
広告電気材料総合メーカー
協和電工株式会社
〒547-0041 大阪市平野区平野北1丁目7-12 ☎大阪(06)6792-5000(代)

お求めやすくなりました! 人気の高いパネルです!
PGライトLED スリム 屋内用
軽い・薄い 明るい 長持ち
ランプは1日8時間点灯で13年間の長寿命。(ランプ寿命、約40,000時間)
前4辺のフレームが手で簡単に開閉できます。
フレーム形状はR型・角型からお選びいただけます。
新たに A0・B0サイズも受注可能になりました。
掲示物原稿はインクジェット出力によるバックライトフィルムが最適で安価です。
参考上代
R型 角型
A0 160,000円(+税) 162,000円(+税)
A1 75,000円(+税) 76,000円(+税)
A2 51,000円(+税) 52,000円(+税)
B0 220,000円(+税) 222,000円(+税)
B1 98,000円(+税) 99,000円(+税)
B2 63,000円(+税) 64,000円(+税)
※参考上代は税別です。
※参考上代はシルバー色の価格になります。
他の色に関してはご相談下さい。
※照度B1で2,000ルクス

新製品 LED スリム ツーオープン 屋内用
フードコート等でのメニューサインに最適です。
上下2辺のフレームが開く薄型LEDパネル。
スリムシリーズにNEWタイプが仲間入り。
1000x500横 72,000円(+税)
B2横 63,000円(+税)
A2横 51,000円(+税)
500x500 48,000円(+税)
※1000x500サイズは、500x500のメディア2枚を入れてもご使用出来ます。
※壁付又はスタンドにのせてご使用下さい。※直射日光のあたる場所は避けてご使用下さい。